

ARIB「CEATEC 2022」出展概要

ARIB

『CEATEC 2022』が、オンライン会場では、10月1日（土）から31日（月）まで、幕張メッセ会場では、10月18日（火）から21日（金）まで、初のハイブリッド形式にて開催されました。

今年の CEATEC は、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society 5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」を開催趣旨として、562社/団体が出展しました。



ARIB では、今年も同展示会に協力団体として協力するとともに、以下のとおり、オンライン会場及び幕張メッセ会場にて、電波システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介しました。また、来場者の電波の有効利用に対する関心や理解を深めるべく、電波功績賞※を受賞されたテーマの技術やシステムの紹介も実施しました。

※電波功績賞：

電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及び ARIB 会長表彰として、毎年表彰しているもの。

■ 出展内容

(1) パネル形式によるARIBの概要、研究開発活動、国際協力活動の紹介

- ① [ARIBの概要](#)
- ② [移動通信への取り組み](#)
- ③ [ITSへの取り組み](#)
- ④ [電磁環境への取り組み](#)
- ⑤ 放送への取り組み（[【放送分野の研究開発】](#) 及び [【地上デジタル放送の国際普及活動】](#)）

(2) スライドショー、パネル及びデモ展示（今回は日本放送協会（NHK）様、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）様にご協力いただきました。）形式による[第33回電波功績賞](#)を受賞されたテーマの技術やシステムの紹介

企業ブース

一般社団法人電波産業会(ARIB)

小冊番号 1065

ARIBは、通信・放送など社会経済の発展を支える電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の健全な発展を促す観点から、電波の利用に関する調査、研究、開発、コンサルティング業務を行い、もって社会の発展に寄与することを目的としています。

1. 電波産業の発展
2. 電波の利用に関する調査、研究、開発
3. 電波の利用に関するコンサルティング、普及啓蒙並びに資料又は情報の収集及び提供
4. 電波利用システムに関する標準化活動の推進
5. 電波の利用に関する国際的な活動の推進、国際協力
6. 電波産業の発展に寄与する事業
7. その他電波産業の発展に寄与する事業

また、当会は、電波の有効利用の普及を促進するため、電波の有効利用に関する特別の記録を上げた個人又は団体に「電波功績賞」を授与しています。本年受賞された「電波功績賞」を紹介いたします。

表示を拡大する



パネル形式資料のダウンロード

リンク

展示チャンネル（電波功績賞受賞テーマの紹介）

ARIB

電波功績賞受賞テーマの紹介

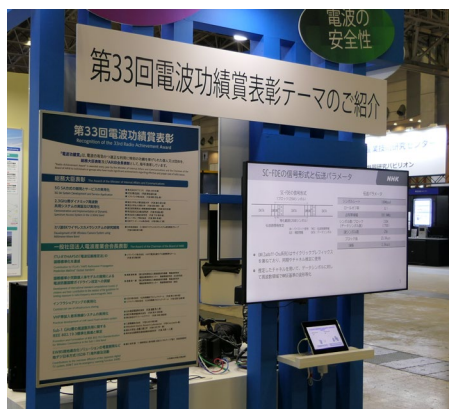
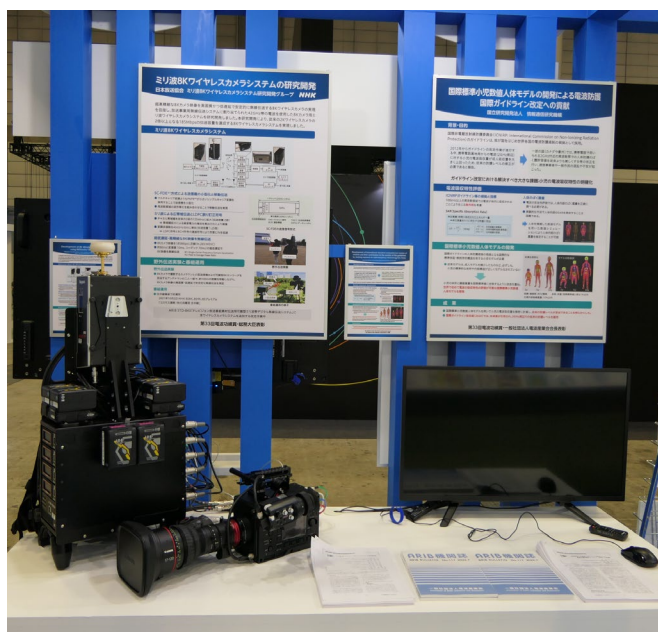


YouTube 動画再生

ソリューション

パネル形式資料のダウンロード

オンライン会場



↑ 電波功績賞受賞テーマの
スライドショーによる紹介

← 電波功績賞受賞テーマのデモ展示

- ミリ波 8K ワイヤレスカメラシステムの研究開発（左：NHK 様）
- 国際標準小児数値人体モデルの開発による電波防護国際ガイドライン改定への貢献（右：NICT 様）

幕張メッセ会場